

# 平成26年度(第9回)大阪DMAT養成研修 参加記録

2015. 2.21(土)~22(日)

## 【研修内容】

- ・災害時現場医療対応の原則(CSCATTT)
- ・情報通信訓練(METHANE法とトランシーバー、衛星携帯電話)
- ・大阪DMATの役割
- ・トリアージ(START法、PAT法)
- ・局地災害シュミレーション
- ・瓦礫の下の医療(CSM)
- ・災害現場の警察、消防機関の活動
- ・ロジスティックスの基本
- ・救護所での診療方法
- ・大阪府救急災害医療情報システム(ORION)

## 【参加】

医師・看護師・業務調整員(ロジスティックス)で構成された16チーム64名

## 【場所】

大阪府立急性期・総合医療センター



**大阪DMATの役割、災害医療を理解せよ!!**  
研修は講義・机上訓練・実習



**情報と資源を管理せよ!!**  
業務調整員によるグループワーク。  
3K(機敏・機転・気配り)でチームをサポート!  
ロジは無くってはならない存在



**大阪空港航空機事故発生!! 出動せよ!!**  
局地災害シュミレーションでは、現場に到着するまでにすべき事はなにかを検討する。出動チームと院内後方支援チームの立ち上げ、そして資器材の点検・準備・情報収集・隊員名簿の作成も必須! 大阪空港までの経路を検索し、緊急ゲートより進入。DMATの最先着隊であった場合、まず何をすべきか? 誰の指示に従うのか?



**傷病者集積所でトリアージせよ!!**  
トリアージエリア、赤・黄・緑・黒の各ゾーンと搬出エリアを決定!  
そして、カードを使ったSTART法によるトリアージ訓練。患者を迅速に重症度別にふるい分ける!



### 現場救護所で活動せよ!!

列車事故現場を想定したDMAT活動演習。  
トリアージ、治療、搬出等各エリアの決定。  
テント内のベッドや人員配置の決定を!  
またどのように傷病者情報を管理するのか?



### 搬送の優先順位を決定せよ!!

救護所のリーダーを決め、作戦会議中。  
初対面の隊員同士、コミュニケーションが大切。  
トリアージカテゴリーを決定し、傷病者リスト  
を作成!



### 二次災害に注意せよ!!

瓦礫の下の医療(CSM)を体験。  
ゴーグル、マスク、手袋が活動を制限し、騒音・  
粉塵・振動の為、要救助者にたどり着くのが困難。  
二次災害の危険が迫ると、負傷者をおいて退避せ  
ざるを得ない…



### 医療処置要否の判断をせよ!!

要救助者によろやくたどり着いた!  
しかし、身体の一部しか確認できず、全身状態  
の把握が困難。現場で出来ること出来ないこと、  
必要なこと必要でないことを見極める。  
この要救助者には、気道確保と補液を実施!!



### 【研修参加メンバー】

医 師：八木  
看 護 師：福森・中尾  
業務調整員：上林  
講 師：森原

2日間の大阪DMAT養成研修終了!!  
最後に実技・筆記試験を受け、4名の新人隊員誕生!

報告：中尾和美